

Waffle Cell

取扱説明書 応用編

1:ファイルサーバーを使ってみる.....	3
◎1-1:Windowsからファイルサーバーを使う場合.....	4
◎1-2:Macからファイルサーバーを使う場合.....	6
◎1-3:共有フォルダの設定.....	8
○設定画面を開く.....	8
○設定画面の説明.....	9
○共有フォルダの新規作成.....	9
○アクセス権限の設定.....	10
○作成した共有フォルダへのアクセス.....	11
2:Nextcloud（ネクストクラウド）を使ってみる.....	12
◎2-1:Nextcloudへのログイン.....	13
◎2-2:ファイルのアップロード.....	15
◎2-2:ファイル操作.....	17
○ダウンロード.....	18
○削除.....	18
○移動またはコピー.....	18
○まとめて操作.....	19
○削除したファイル（フォルダ）の復活・消去.....	19
3:VPN設定.....	21
◎3-1:事前共有キーの設定.....	22
◎3-2:WindowsPCからVPN接続.....	24
○Windows VPN接続用プログラムのインストール.....	24
○レジストリの変更（初回起動時のみ）.....	25
○Windows VPNの設定を行う.....	26
○Windows VPN接続を行う.....	30
4:アップデート.....	32

◎4-1:アップデート.....	33
◎4-2:アップデートの種類.....	35
○サービス一覧のアップデート.....	35
○OSアップデート.....	35
○Waffle Cellのシステムのアップデート.....	35
5:仮想デスクトップ.....	36
◎5-1:仮想デスクトップ.....	37
○仮想デスクトップの有効化.....	37
○仮想デスクトップをブラウザから開く.....	38
○仮想デスクトップ画面の説明.....	39
○仮想デスクトップからファイルサーバーへのアクセス.....	40
○仮想デスクトップから共有フォルダへのアクセス.....	41
◎5-2:仮想デスクトップの終了（再起動）.....	44
◎5-3:仮想デスクトップを専用ソフトで起動.....	46
○VNCサーバー名.....	46
6:参考ページ.....	48
◎6-1:参考：トップページが表示されない場合.....	48
◎6-2:参考：動作チェック（LANの外側から）.....	49
○外部から接続した場合の画面の説明.....	49
◎6-3:参考：管理Top画面へログイン.....	50

応用編では、導入編で以下の作業が行われている事が前提です。

1：ホスト名の設定

2：ユーザー追加

3：サービス（Nextcloud+Talk）の追加

上記作業が行われていない場合は導入編に戻って、作業を行なって下さい。

1: ファイルサーバーを使ってみる

ファイルサーバーとはWaffle Cell内にファイルを保存し、クライアントPCから利用する機能です（いわゆるNASの機能です）。LAN上にある外付けのHDDドライブのようなものとお考え下さい。

この機能は各PCのファイル操作の機能（例えばWindowsならエクスプローラー、MacならFinder）からアクセスします（ブラウザは使いません）。

利用の前提として、利用したいユーザーをユーザー追加しておく必要があります。

Waffle Cell内に登録（ユーザー追加）したユーザー専用のフォルダ（Waffle Cellユーザー名=フォルダ名）が自動的に作成されます。

◎ 1-1:Windowsからファイルサーバーを使う場合

Windowsからファイルサーバーに接続する場合は、エクスプローラーを利用します（ブラウザは使いません）。導入編で追加したユーザーで試してみましょう。

手順

1. エクスプローラーを起動(Windowsキー+E で起動します)。
2. 次にアドレスバーに以下のように入力し、Enterキーを押す。

¥¥l.<ホスト名>.wafflecell.com¥フォルダ名¥

※フォルダ名は、追加されているWaffle Cellユーザー名です。

例：ホスト名がexample、Waffle Cellユーザー名がtanakaの場合

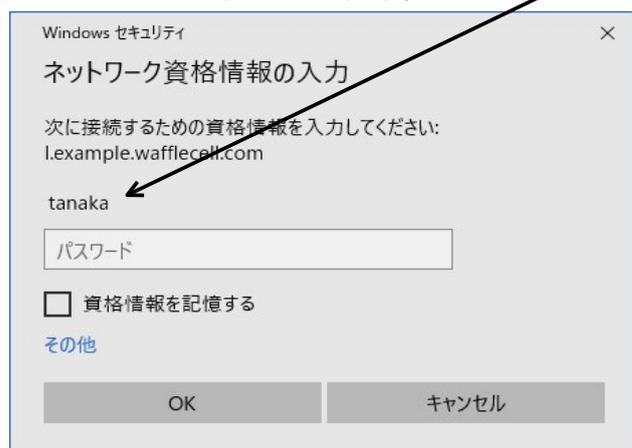
¥¥l.example.wafflecell.com¥tanaka¥



3. Enterキーを押すと、ネットワーク資格情報の入力画面が表示されるので、「ユーザー追加」時に設定したWaffle Cellユーザー名とパスワードを入れる。
※通常はユーザー名とパスワードを聞いてきますが、環境によってはパスワードのみを聞いてくる場合もあります。



※パスワードのみを聞いてくる場合は、ユーザー名（図例ではtanaka）が正しければ、そのままパスワードを入力して下さい。



4. 最後にOKボタンをクリックする。

※OKボタンを押す前に「資格情報を記憶する」をチェックすると、次回アクセス時から、ユーザー名とパスワードの入力が不要になります。

アクセスできれば、普通のフォルダと同じように使えます。例えばPCのドライブからファイルをコピーペーストしたり、削除したり等が可能です。

また、このフォルダをエクスプローラーのクイックアクセスにピン留めしておくると便利です。

◎ 1-2:Macからファイルサーバーを使う場合

Macからアクセスする場合は、Finderを使います。

1. 「Finder」で「移動」→「サーバへ接続」を選択し、サーバアドレスに下記のように入力します。

```
smb://l.<ホスト名>.wafflecell.com/フォルダ名
```

※フォルダ名は追加されているWaffle Cellユーザー名になります。

例：ホスト名がexampleで、フォルダ名がyamadaの場合

```
smb://l.example.wafflecell.com.com/yamada
```



2. ユーザー名とパスワードを聞かれるので、「ユーザー追加」時に設定したWaffle Cellユーザー名とパスワードを入れます。



3. 最後に接続ボタンをクリックします。

環境によっては上記の方法で繋がらない場合があります。この場合はサーバーアドレスに下記のように入力してください。

```
smb://WORKGROUP;フォルダ名@l.<ホスト名>.wafflecell.com/フォルダ名
```

例：ホスト名がexampleで、フォルダ名がtaroの場合。

smb://WORKGROUP;taro@l.example.wafflecell.com.com/taro

もし上記でうまく行かない場合は以下のように入力して下さい。

smb://WAFFLECELLGROUP;フォルダ名@l.<ホスト名>.wafflecell.com/フォルダ名

例：ホスト名がexampleで、フォルダ名がtaroの場合。

smb://WAFFLECELLGROUP;taro@l.example.wafflecell.com/taro

◎ 1-3:共有フォルダの設定

今までの説明はそのユーザーの専用のファイルサーバー領域(フォルダ)にアクセスする方法です。専用のファイルサーバー領域には、そのユーザーしかアクセスできません。

「共有フォルダの設定」で、フォルダを作成し「共有」の設定を行えば、例えば tanaka、yamada、satoの3人のユーザーが共通してアクセスできるフォルダを作成する事が可能です。

営業部全員がアクセス出来るフォルダ、社長と経理担当者だけがアクセス出来るフォルダ、両親はアクセス可能だが子供はアクセスできないフォルダ等、目的別に作ることが可能です。

アクセス設定はユーザー毎に行うことが出来ます。さらに、参照専用の設定も可能ですので、「部長は読み書き可能だが、部員は読むことしか出来ない」というような設定も行えます。

○設定画面を開く

まず、Waffle Cell管理Topページへログイン（方法は「◎6-3:参考：管理Top画面へログイン」を参照）します。

管理Top画面が表示されたら、「共有フォルダ」をクリックします。



○設定画面の説明

設定画面を開くと、追加されているWaffle Cellユーザーの数だけ設定ボックスが表示されます。

図例は、tanaka、yamada、satoの3名のユーザーが登録されている場合です。

管理Top アプリ 共有フォルダ

共有フォルダ

共有フォルダを設定します。

Waffle CellのNAS（ファイルサーバー）機能には複数のWaffle Cellユーザーが共有できる領域を設定できます。共有する領域には名前をつけることができ、WindowsやMacなどから通常のフォルダとしてデータの保存ができます。いつでも設定の変更が可能です。

以下より設定をするWaffle Cellユーザーを選び、そのユーザーがアクセスできる領域を選択または新規作成をしてください。新規フォルダ名は様々なOSとの互換性を考慮し、半角英数字としてください。

ユーザー名：tanaka

無効 有効 参照専用

新規フォルダ

ユーザー名：yamada

無効 有効 参照専用

新規フォルダ

ユーザー名：sato

無効 有効 参照専用

新規フォルダ

-- 以下より選択してください -- ▼ 設定

○共有フォルダの新規作成

新規に共有フォルダを作る場合は、薄い字で「新規フォルダ」と書いてある部分に作りたいフォルダ名を入れます。

無効 有効 参照専用

新規フォルダ

入力はどのWaffle Cellユーザーのボックスでも可能で、入力は一箇所でも構いません。（図例なら、tanaka、yamada、satoのどれか一箇所に入力）。

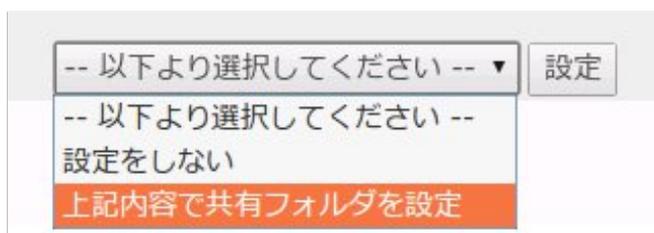
入力可能文字数

システム上では200文字程度まで可能ですが、実用性を考えると数十程度までが妥当でしょう。

利用可能文字

複数のOSからアクセスする事を考慮すると、半角英数字が望ましいです。漢字を使う事も可能ですが、OSによっては漢字の扱いが難しいという点を考慮して下さい（例えば日本語Windowsのみからのアクセスであれば、漢字のフォルダでもかまわないでしょう）。

作りたいフォルダ名を入力したら、画面下部の「-- 以下より選択して下さい --」をクリックし、「上記内容で共有フォルダを設定」を選択、「設定」ボタンをクリックして下さい。



○アクセス権限の設定

共有フォルダを作成した後に、作成したフォルダへのアクセス権限を設定します。この設定はユーザー毎に行います。

例図ではminnaという共有フォルダが作られています。Waffle Cellユーザー毎にこのフォルダのアクセス権限を設定します。

ユーザー「tanaka」が共有フォルダ「minna」に対するアクセス権限は、minnaの右のラジオボタンで設定します。



無効

読み書き出来ません。フォルダ内にどのようなファイルがあるかも表示されません。

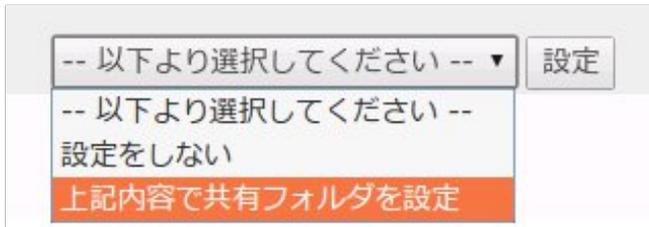
有効

そのフォルダ内にあるファイル全てに読み書き可能です。（※但しファイルごとに読み書き属性が設定されている場合は書き込めないファイルがある場合もあります。）

参照専用

読み込みのみ可能、編集不可。ただし、共有フォルダ内にあるファイルをコピーして、自分のフォルダに貼り付けるなどは行えます。

設定を行ったら、先ほどと同じ要領で最下段の「設定」ボタンをクリックします。



ここの設定はわかりにくい部分があるので、最後に注意点をまとめます。

1. 管理Top → 「ユーザー追加」で作成したWaffle Cellユーザーの数だけ、共有フォルダ設定用のボックスが表示される。
2. 共有フォルダの新規作成はどのWaffle Cellユーザー名のボックスで行なって構わない。ただし、作成直後はそのWaffle Cellユーザーは新規に作ったフォルダのアクセス権の初期値は有効なので、有効にする予定のWaffle Cellユーザーのボックスで作った方がベター
3. 共有フォルダを作ったら、Waffle Cellユーザー毎にアクセス権限を設定する
4. 一旦作成した共有フォルダを削除することはできない。使用しない共有フォルダはフォルダ内のファイルを全削除し、全ユーザーのオプション設定を「無効」にする。

○作成した共有フォルダへのアクセス

アクセスしたいフォルダが有効（または参照専用）になっているWaffle Cellユーザーは、共有フォルダにアクセス可能です。

アクセス方法は通常のファイルサーバーへの接続と同じですが、例えば「minna」という名前で作ったフォルダの場合、「Sh.minna」という具合に共有フォルダであることがわかるように、先頭に「Sh.」（エス エイチ ドット）がつきますので、ご注意下さい。

例えば、共有フォルダ名が「minna」の場合、

Windowsであれば、エクスプローラーのアドレスバーに

¥¥l.<ホスト名>.wafflecell.com¥¥Sh.minna¥

Macであれば、「Finder」で「移動」→「サーバへ接続」で、サーバアドレスに

smb://l.<ホスト名>.wafflecell.com/Sh.minna

と入れてアクセスして下さい。

2: Nextcloud（ネクストクラウド）を使ってみる

NextcloudはDropboxのようなソフトで、いわゆるオンラインストレージです。ファイルをNextcloudに保存（アップロード）、ダウンロードすることが可能です。ここではブラウザの画面から利用する、基本的な使い方を説明します。

※ファイルサーバーとNextcloudの違い

前述したファイルサーバー機能もNextcloudも、ファイルを保存するサービスですが、次のような違いがあります。

1. ファイルサーバーはエクスプローラーを使いますが、Nextcloudはブラウザを使います。
→Nextcloudはブラウザさえ使えればファイルのやり取りが可能。
2. ファイルサーバー上のファイルを社外に公表することは出来ませんが、Nextcloudは社外の人にもIDを発行して、データのやり取りを行う事が出来ます。
→Nextcloudは外部の人にもファイルを公開出来る。

例えば、社内でのみ使うデータ(個人情報等)はファイルサーバー、社外の人に渡すデータ(見積書等)はNextcloudというように使い分けることが可能です。

◎ 2-1:Nextcloudへのログイン

まずはWaffle Cellのアプリ画面を表示します。PCのブラウザから

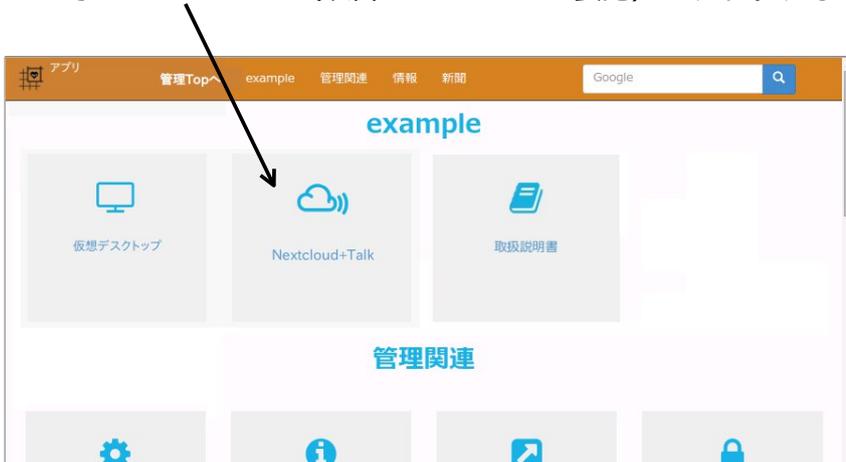
`https://l.<ホスト名>.wafflecell.com`

例 `https://l.example.wafflecell.com`

にアクセスして下さい。

Waffle Cellに追加したサービスはこの画面に表示されます。図例ではデフォルトで追加される仮想デスクトップと取扱説明書を除き、Nextcloud+Talk(*)以外のサービスが追加されていないので、他にはサービスは表示されていません。なお「example」の表記の部分には、実際にはお客様がお使いのWaffle Cellのホスト名が表示されます。

ここでNextcloud+Talk（以降はNextcloudと表記）をクリックします。



*Nextcloud+TalkはTalkの機能（テレビ電話会議システム）が加わっているバージョンのNextcloudを意味しています。Talkについては巻末に記載されているオンラインマニュアルのURLを参照して下さい。

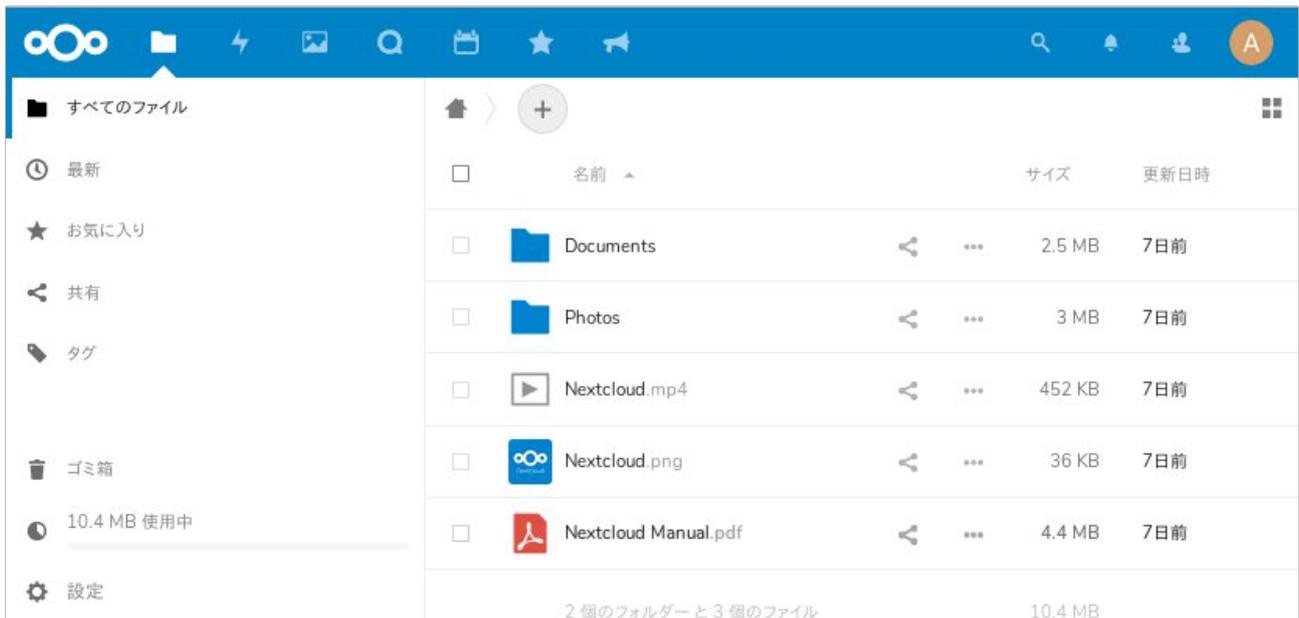
ログイン画面が開きます。



ここでNextcloudインストール時に設定した Nextcloudの管理者ID、Nextcloudの管理者パスワードを入力します。（*Waffle Cell管理者名、Waffle Cellユーザー名とは別物です。）

この画面が表示されれば、ログインは成功です。

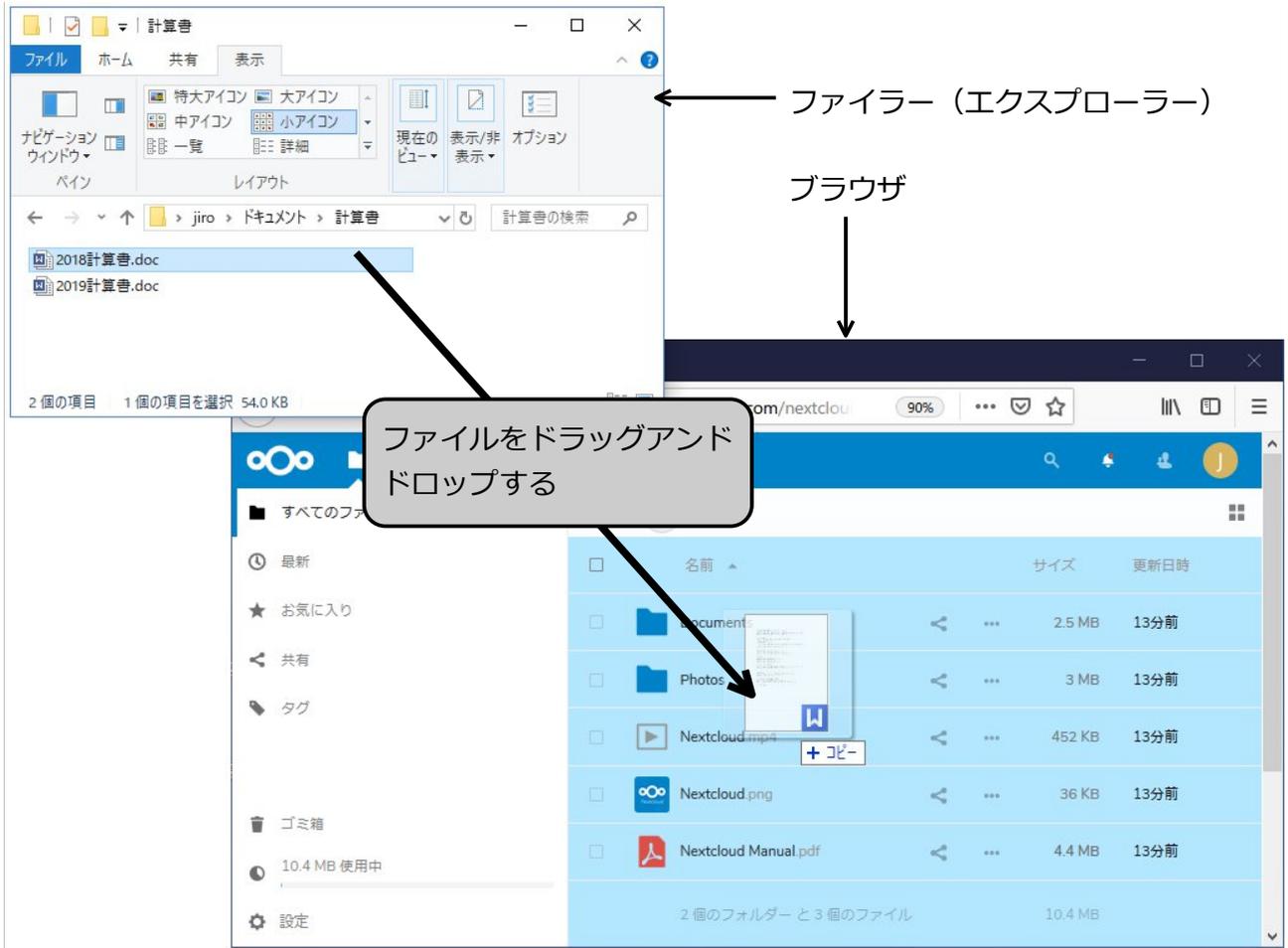
なお、画面のデザイン、初期値で設定されているフォルダ、サンプルファイルはバージョン等によって若干変わってくる場合がありますので、ご注意ください。



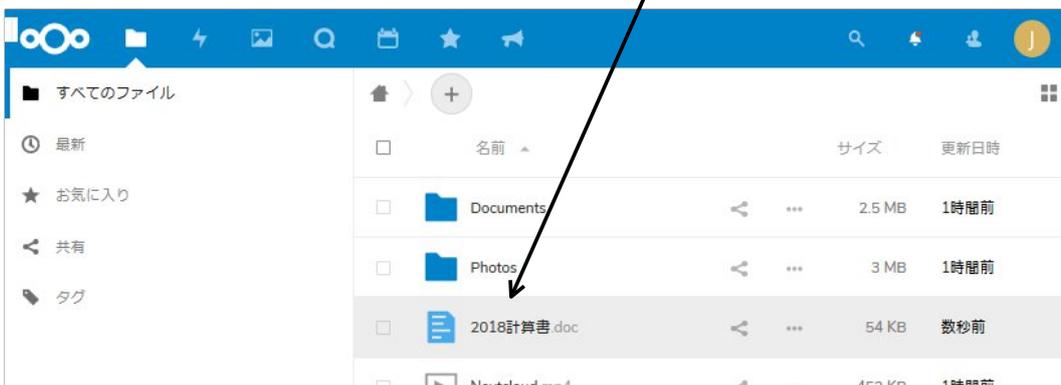
◎ 2-2:ファイルのアップロード

Nextcloudへのアップロードはドラッグアンドドロップで行う事が出来ます。

次図はWindowsの画面です。左上は「ファイラー（エクスプローラー）」、右下が「ブラウザで開いたNextcloudの画面」です。ファイラーからブラウザのNextcloudの画面にファイルをドラッグアンドドロップするとアップロードが行われます。（フォルダも同様にドラッグアンドドロップ可能です）。



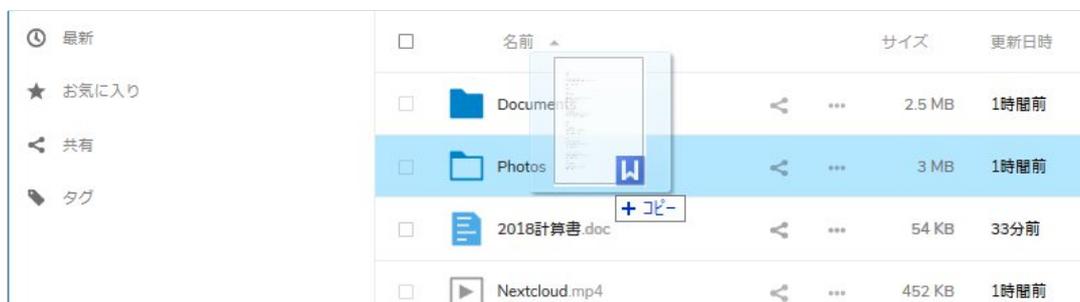
アップロードが完了すると、アップロードしたファイル（フォルダ）が表示されます



例ではWindowsでの操作を説明しましたが、もちろんMac等でも同様にファイルのドラッグアン

ドドロップでアップロードを行えます。

また、ファイルをフォルダにドロップすれば、Nextcloudのフォルダの中に該当のファイルがアップロードされます。図例ではPhotoというフォルダにドロップしようとしています。

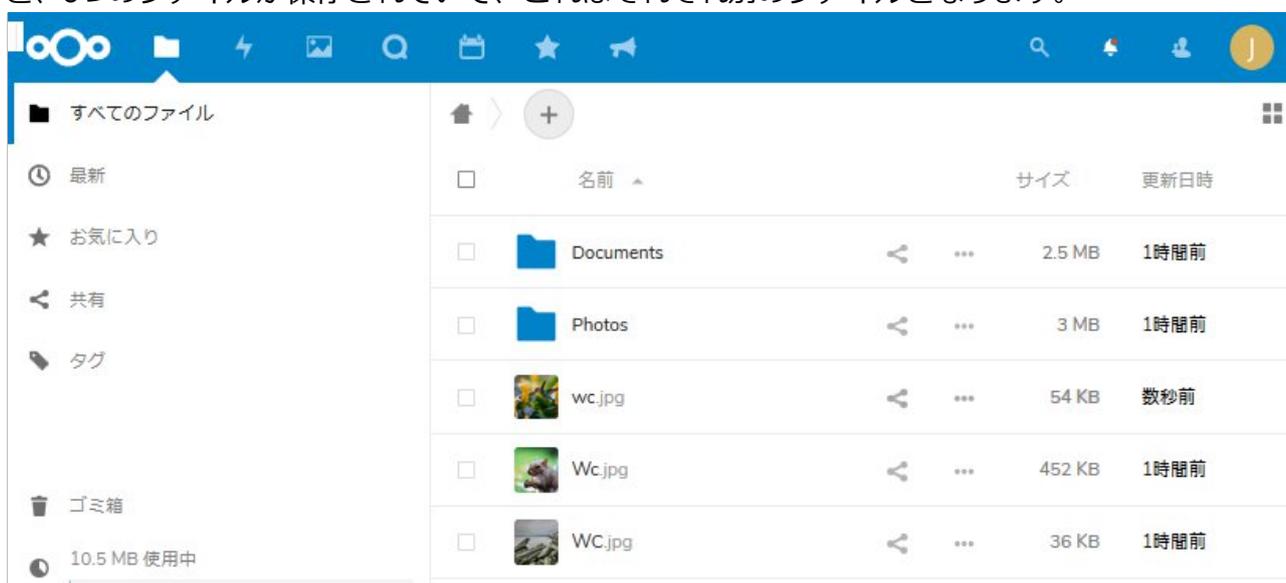


※注意：ファイル名の大文字・小文字

Nextcloudではファイル名の大文字・小文字を区別し、同じアルファベットでも別のファイルとして認識されます。例えば次図のNextcloudの画面では

- wc.jpg
- Wc.jpg
- WC.jpg

と、3つのファイルが保存されていて、これはそれぞれ別のファイルとなります。

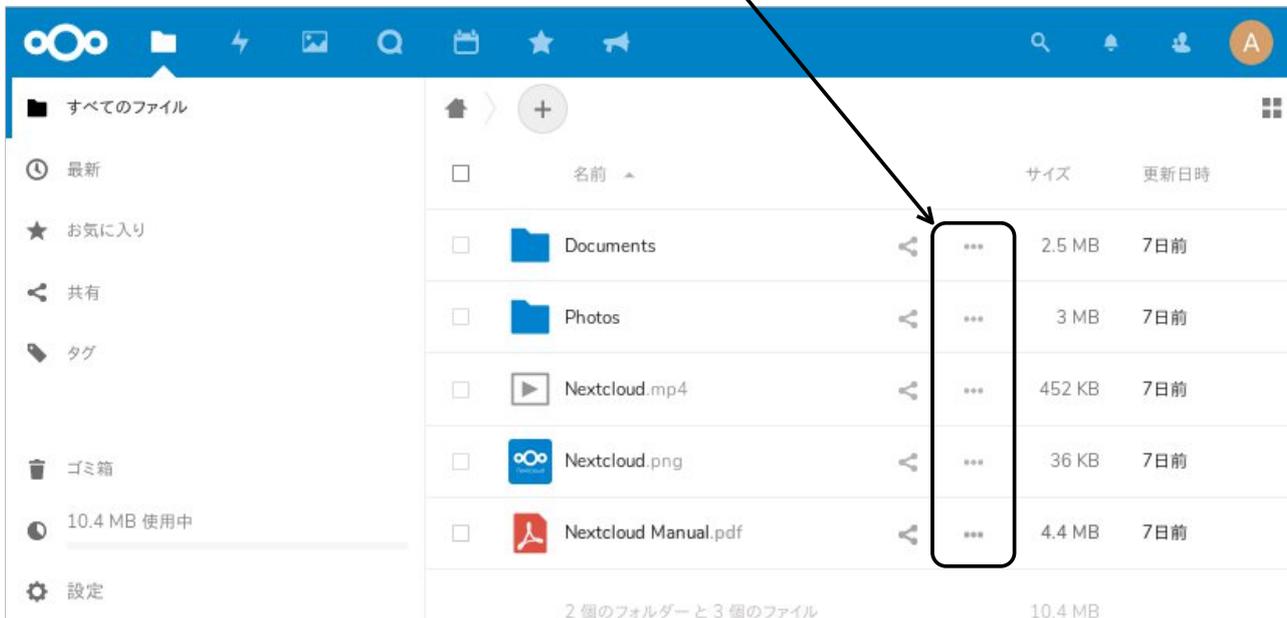


しかし、Windowsではファイル名の大文字と小文字は区別しないため、この3つはWindowsでは同一のファイルと見なされます。この状況でWindowsのPCと同期を取ると齟齬が生じてしまいます。Windowsをお使いの場合は、ファイル名は小文字なら小文字で統一する等ルールを決めてお使いください。

◎ 2-2:ファイル操作

ブラウザの画面からファイル进行操作する事が可能です。

ファイルの操作は、ファイル（フォルダ）名右の … をクリックして行います。



操作を行いたいファイル（フォルダ）の右の … をクリックし、表示されるメニューから行いたい処理を選びます。



ここでは基本的な機能の「ダウンロード」と「削除」、「移動またはコピー」について説明します。

なお、操作中に画面がもとに戻らなくなった等の場合は画面左上の方の「すべてのファイル」をクリックして下さい。最初の画面に戻ります。

○ダウンロード

メニューからダウンロードを選ぶと、ファイルのダウンロードを行います。

同様にフォルダもダウンロード可能です（zipファイルになります）。

ダウンロードされる場所はブラウザによって異なります。ブラウザの設定でダウンロードフォルダを確認してください。

○削除

メニューから削除を選ぶと、ファイル（フォルダ）を削除します。

○移動またはコピー

メニューから「移動またはコピー」を選ぶことで、ファイルの移動やコピーが可能です。

「移動またはコピー」を選ぶと、移動（またはコピー）先のフォルダを選ぶ画面になりますのでクリックしてフォルダを選択します。

フォルダを選ばずに右下の「移動」または「コピー」をクリックすると、一番上のフォルダーに移動またはコピーします。



フォルダを選ぶと右下のボタンの表記が変わります。



図例では選択したフォルダ内にサブフォルダがない場合です。サブフォルダがある場合はサブフォルダが表示され、さらに選択することが可能です。移動（またはコピー）先がこのフォルダであれば、右下の「<フォルダ名>へコピー」または「<フォルダ名>へ移動」（<フォルダ名>には今選択しているフォルダ名が表示されます）をクリックします。

○まとめて操作

複数のファイルやフォルダをまとめて操作することも可能です。

まとめて操作したいファイル（フォルダ）の右のチェックボックスをクリックします。

上部に「…アクション」が表示されますので、クリックして操作を選びます。

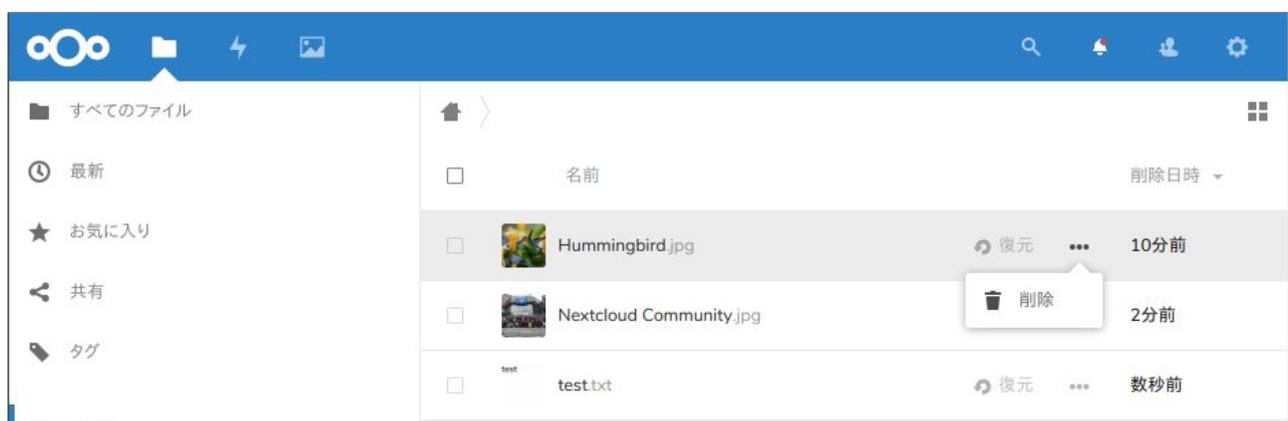
ここをチェックすると、ここが表示されるのでクリックし、表示されるメニューから操作を選択



なお、複数のファイルをダウンロードする場合は、zipファイルとしてまとめてダウンロードされます。

○削除したファイル（フォルダ）の復活・消去

削除したファイル（フォルダ）は一時的にNextcloudのゴミ箱に入れられている状態で、復活可能な状態になっています。これを復活・完全消去を行うことが可能です。



画面左のメニューの下部にある、「ゴミ箱」をクリックすると、削除したファイルの一覧が表示されます。

「復元」をクリックすれば、ファイルは復元されます。… をクリックし、削除をクリックするとこのファイルは完全に消去されます

3: VPN設定

LANの外側にあるPC等からWaffle CellにVPN接続を行うと、LANの外側にあるPC等をあたかも同じLAN内にあるPC等のように利用することが可能になります。(一部例外あり)

例えばファイルサーバー機能は同じLAN内のPC等からのみ利用可能ですが、VPN接続を利用すれば外部にあるPC等からファイルサーバーを利用し、ファイルのやり取りを行う事が可能です。

※VPN接続は外部にあるPC等から行う作業であり、同じLAN内にあるPCからVPN接続は出来ません。

VPNにはいくつか方式がありますが、Waffle Cellではセキュリティの高いL2TP/IPsecを採用しています。

◎ 3-1:事前共有キーの設定

まず、Waffle Cell側でVPN設定（事前共有キーの設定）を行なっておく必要があります。
事前共有キーとはVPN接続をするためのパスワードです。

VPN接続を行わない場合、事前共有キーの設定は不要です。

手順

1. Waffle Cell管理Top画面へログイン（方法は「◎6-3:参考：管理Top画面へログイン」を参照）
2. 画面上部にある「セキュリティ」をクリック



3. 「VPN設定」をクリックし、設定画面を開く



4. VPN設定画面で事前共有キー（半角英数字5～20文字で設定）を入力し、「上記の値を設定」をクリック。

同じものを確認のために2ヶ所に入力し、ここをクリック

The screenshot shows the 'VPN設定' (VPN Settings) page. At the top, there is a navigation bar with '管理Top', 'アプリ', and 'VPN設定'. The main heading is 'VPN設定'. Below the heading, there is explanatory text: '出先からインターネットを経由しWaffle CellのNAS（ファイルサーバー）や仮想デスクトップに接続するにはVPN接続が必要です。接続にはWaffle Cellユーザー名とパスワードの他、「事前共有キー(PSK)」という「秘密のキーワード」が必要となります。' and 'ここではこの事前共有キーを設定します。半角英数字で他人に想像できないようなものを設定してください。例えば「Suv731as282」というように想像できそうになくかつ覚えやすいものかいいと思います。半角英数字(6-32文字)のみでスペースや記号は使えません'.

The form contains two input fields for the pre-shared key:

- The first field is labeled '事前共有キー(半角英数字 6-32文字)' and contains the text '事前共有キー(半角英数字 6-32文字)'.
- The second field is labeled '確認 (再入力)' and contains the text '確認 (再入力)'. It has a small eye icon to its right.

Below the input fields is a button labeled '上記の値を設定'.

Two black arrows originate from the text '同じものを確認のために2ヶ所に入力し、ここをクリック'. One arrow points to the first input field, and the other points to the '確認 (再入力)' field.

Waffle Cell側で行う設定はこれだけです。

万一事前共有キーを忘れてしまっても、同じ手順で再設定できますが、設定内容をきちんとメモして保管しておく事をお勧めします。

事前共有キーはPC等でVPN接続の設定を行うときに必要になります。

※一旦設定した事前共有キーは削除できません。変更する場合は、再び事前共有キーを設定することで上書きされます。

◎ 3-2:WindowsPCからVPN接続

説明はWindows10用の説明です。

その他のOSについては、以下のリンクで対象のバージョンの説明を合わせてご覧ください。

<http://mph.jp>

○Windows VPN接続用プログラムのインストール

WindowsPCからWaffle CellにVPN接続する場合、VPN接続用のプログラムをダウンロードし、インストールします。

手順

1. <https://l.<ホスト名>.wafflecell.com/> (例: <https://l.example.wafflecell.com/>) を開く
(※LAN外からの場合はl.を取って、<https://<ホスト名>.wafflecell.com/>)
2. アプリ画面が表示されるので、画面上部の「管理関連」をクリック。



※同じLAN内の場合は上記画面になりますが、LAN外からアクセスした場合は少し画面が違ってはいますが、その場合も画面上部の「管理関連」をクリックして下さい。

3. 「VPN Manager」をクリック



1. ※同じLAN内の場合は上記画面になりますが、LAN外からアクセスした場合は管理関連の項目は「VPN Manager」だけになります。
4. 「WaffleCell VPN Manager Download」をクリック、インストールプログラムをダウン

ロードし、インストールプログラムを実行する。（プログラム名は、wfmsetup.msi）

後は画面の指示に従っていけばインストールが終わります。

インストールが完了したらWaffle Cell VPN Managerを起動しますが、**Waffle Cell VPN Manager起動後、一度WindowsPCの再起動が必要になります。**

Waffle Cell VPN Managerを起動する前に、他の作業を全て終了しておいて下さい。

○レジストリの変更（初回起動時のみ）

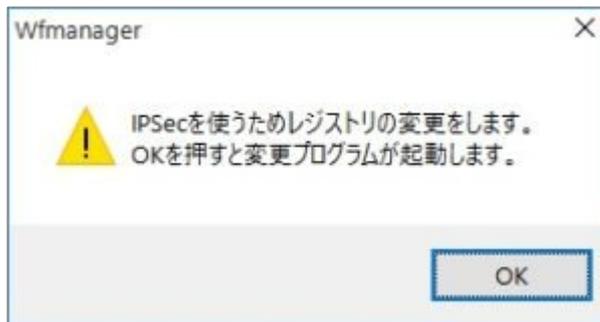
Waffle Cell VPN Managerは、初回起動時にWindowsの設定情報（レジストリ）にVPNに接続するための情報を書き込みます。これは初回起動時だけ行われる作業です。

※VPN接続はWindowsの標準の設定でも行う事ができますが、一度はWaffle Cell VPN Managerをインストールして起動 → レジストリを書き換えを行う必要があります。

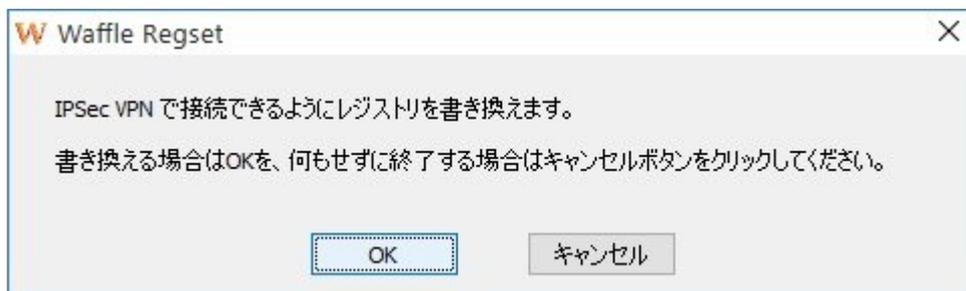
Waffle Cell VPN Managerは使わない、Windows標準のVPN接続の設定を利用する、という場合でも必ず1回はWaffle Cell VPN Managerを起動し、PCを再起動してください。

手順

1. スタートボタン → Waffle Cell VPN Manager → Waffle Cell VPN Managerを選択。



2. OKボタンをクリック。



3. [はい]をクリック。もし他のソフトウェアが動いている場合は、先に保存等を行い、全て終了しておく。



これでPCが一度再起動します。VPNの設定は再起動後に行います。

○Windows VPNの設定を行う

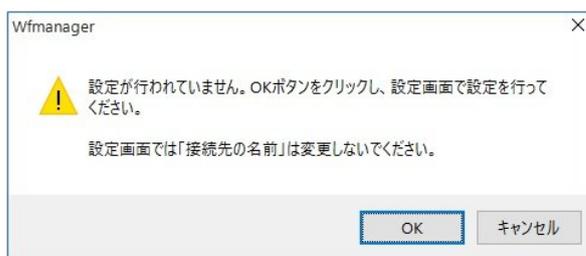
WindowsPC再起動後、VPN接続用のプログラムのWaffle Cell VPN Managerを起動します。起動したら手順に従って設定を行なって下さい。

手順

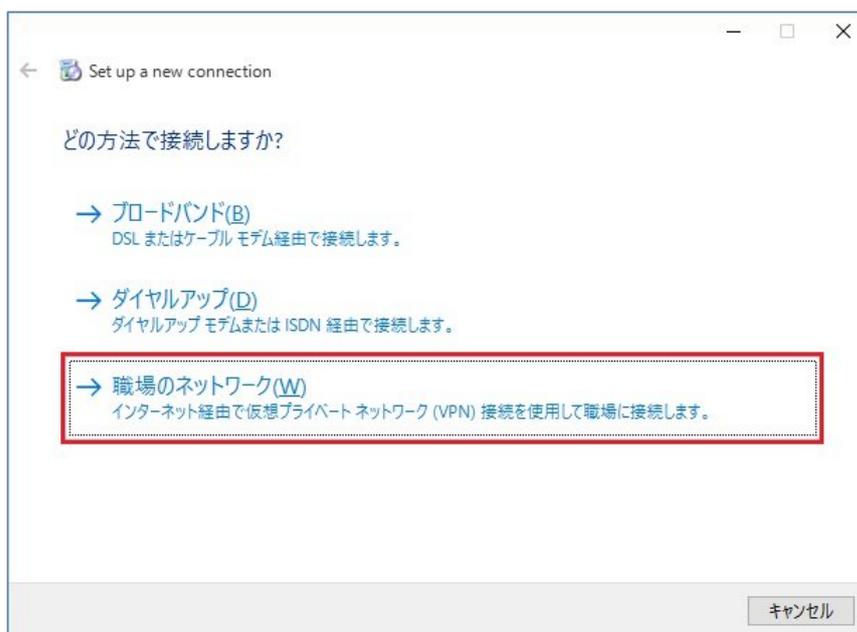
1. Waffle Cell VPN Managerの画面で、「追加」をクリック。



2. 次のような画面が表示されたら、OKボタンをクリック。



3. 次の画面が表示されたら、一番下の「職場のネットワーク」をクリック。



4. インターネットアドレスを入力。
 インターネットアドレスは、「ホスト名.wafflecell.com」(例：
 example.wafflecell.com)を入れます。



※接続先の名前はそのままにして、絶対に変更しないで下さい。

※「スマートカードを使用する」のチェックはしないで下さい。

※ホスト名入力の注意

○正しい入力例	×誤った入力例
example.wafflecell.com	https://example.wafflecell.com (https://は不要)

5. インターネットアドレスを入力したら「作成」ボタンをクリック。

※画面に入っているインターネットアドレス、example.wafflecell.com はあくまでも例

です。exampleのところには実際に登録したホスト名を入れてください。

← Set up a new connection

接続に使用するインターネット アドレスを入力してください

このアドレスは、ネットワーク管理者より受け取ることができます。

インターネット アドレス(I): example.wafflecell.com

接続先の名前(E): Waffle Cell VPN

スマートカードを使用する(S)

資格情報を記憶する(R)

作成(O) キャンセル

6. 次の画面が表示されたら、「設定の編集」をクリック。

VPN Manager

接続する(C)

設定の編集(E)

終了(Q)

7. 下記の画面が表示されたら、[セキュリティ]タブをクリック。

Waffle Cell VPN プロパティ

全般 オプション **セキュリティ** ネットワーク 共有

宛先のホスト名または IP アドレス (例: microsoft.com, 157.54.0.1, または 3ffe:1234::1111)(H): example.wafflecell.com

最初の接続

この仮想接続を確立する前に、まずインターネットなどのパブリック ネットワークに接続するようにできます。

別の接続に最初にダイヤルする(D):

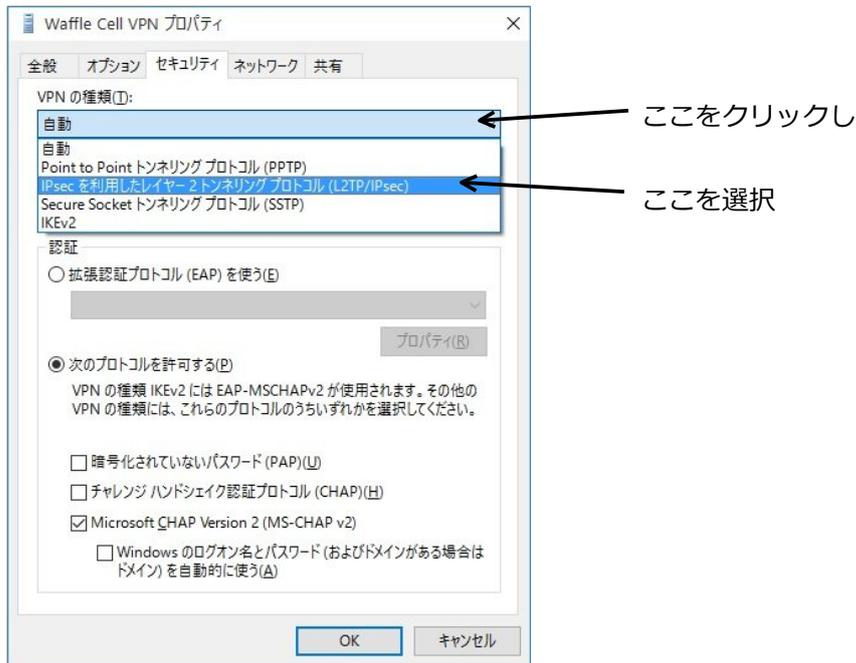
プライバシーに関する声明

OK キャンセル

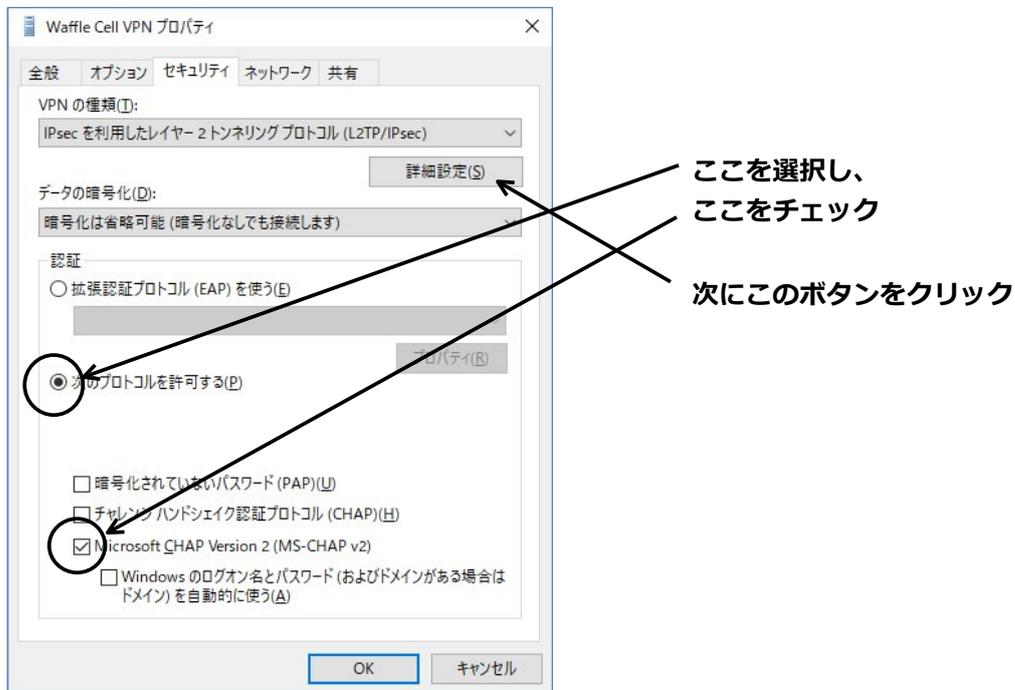
セキュリティタブをクリック

8. 「VPNの種類」の右の三角をクリックして、「IPsecを利用したレイヤー2トンネリングプロトコル(L2TP/IPsec)」を選択。

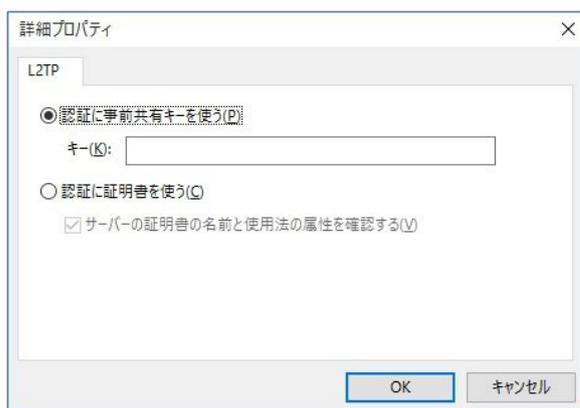
※Windowsのバージョンによっては、「VPNの種類」が[セキュリティ]タブではなく、[ネットワーク]タブにある場合があります。



9. 画面下部「次のプロトコルを許可する」をクリックした後「Microsoft CHAP Version2」のみにチェックを入れ、「詳細設定」ボタンをクリック。



10. 事前にWaffle Cell側で設定した「事前共有キー」を入力し、OKボタンをクリック。
※もしまだ「事前共有キー」を設定していない場合は、事前共有キーを設定して下さい。



11. 下記の画面が表示されれば、VPNの設定は終了。



○Windows VPN接続を行う

設定が終わったら実際にVPN接続してみましょう。なお、**VPN接続はLANの外側から行うものです。Waffle Cellと同じLAN内にあるPCから行うことは出来ません。**

確認はLANの外側にあるPCやスマホのテザリング等で行なって下さい。

1. Windowsのスタートボタン → Waffle Cell VPN Managerを選択し、Waffle Cell VPN Managerを表示させ、「接続する」をクリック。



2. 次のような接続画面が表示されたら、「ユーザー名」と「パスワード」の入力欄にWaffle Cellユーザー名とパスワードを入れて「接続」をクリック。（ドメインは空欄のまま）



※ 「次のユーザーが接続するとき使用するために、このユーザー名とパスワードを保存する」がチェックされていると、次回以降はユーザー名とパスワードの入力は不要になります。

3. 「接続する」ボタンが「切断する」ボタンになればVPN接続成功。



なお、VPNを切断する場合は上記画面で「切断する」ボタンをクリックして下さい。

4: アップデート

Waffle Cellは適宜機能追加や修正等を行なっています。アップデートを行なう事でそれがお使いのWaffle Cellに反映されます。頻繁に行う必要はありませんが、数カ月に一度程度の頻度でアップデートを行なって下さい。

◎4-1:アップデート

Waffle CellはWindowsなどとは違いアップデートは自動で行われませんが、適宜手動で行いますが、導入時に一度アップデートできるものはアップデートをしておきましょう。

アップデートの手順

1. Waffle Cell管理Topページへログイン（方法は「◎6-3:参考：管理Top画面へログイン」を参照）し、画面上部のページ内リンク「高度な設定」をクリック。



2. 「サービス追加削除（一般）」をクリック。



3. サービス追加削除の画面が表示されるので、画面上部の「アップデート」をクリック



4. アップデートが表示される



アップデート関連には、基本は「サービス一覧 アップデート」と「OS アップデート」の二つが表示されます。ただし、Waffle Cell自体のアップデートがある場合には、ここに「アップデート ○○○」という項目が表示されます（○○○にはアップデートの内容が表示される）。

◎4-2:アップデートの種類

○サービス一覧のアップデート

「サービス一覧アップデート」は、特に新しいサービスを追加する前に行なっておくとよいでしょう。アップデートを行うには、「サービス一覧アップデート」をクリックして、後は画面の指示に従うだけです。

○OSアップデート

「OSアップデート」はWaffle Cellの基本OSのLinuxのアップデートを行います。

セキュリティの問題等、緊急に関わるアップデートは自動で行われます。

基本はお客様側で行う必要はありません。

こちらも「OSアップデート」をクリックして、後は画面の指示に従うだけです。

○Waffle Cellのシステムのアップデート

「アップデート ○○○」（○○○にはアップデートの内容が表示される）という項目が表示されている場合は、必ずクリックして実行して下さい。これはWaffle Cellのシステムに関するアップデートになります。

5: 仮想デスクトップ

仮想デスクトップとは、Waffle Cell内にある仮想のコンピューターのようなものとお考え下さい。

仮想デスクトップの操作は普段お使いのPCから行います。データやアプリケーションは全て仮想デスクトップにあり、PCはそれを遠隔操作するためのモニターやキーボードだとお考え下さい。

通常のPCではなく、仮想デスクトップを使うメリットは下記の通りです。

・情報漏えい対策

個人情報等のデータやそれを扱うアプリケーションはサーバー側にあるので、端末（普段お使いのPC）にはデータを置かない運用が可能です。端末側には一時的なものを含めて、一切のデータが残らないため、情報漏えいの防止などの「セキュリティ強化」を容易に行うことができます。これにより、個人情報の入ったノートPCを電車の網棚に置き忘れた、ニュースになってしまったという事を防げます。

・オフィスに行くことが出来ない場合

VPN接続と併用することで、災害などで公共交通がストップした場合でも、サテライトオフィスや自宅などで業務を行え「事業継続基盤強化」につながります。

・環境が変わってもすぐ使える

使っているパソコンが変わっても、仮想デスクトップにアクセスできれば同じ環境で作業が出来ます。またスマホやタブレットからでもアクセス可能です。VPN接続と併用することで、出先から急に確認が必要な場合でも対処が可能です。

なお、仮想デスクトップは同じLAN内にあるPC等から利用可能です。LAN外にあるPC等から使う場合はVPN接続が必要となります。

◎5-1:仮想デスクトップ

Waffle Cellでは管理画面から仮想デスクトップをサービス追加することができます。Waffle Cellで「ユーザー追加」をすれば1ユーザーにつき、1つの仮想デスクトップが割り当てられます。

仮想デスクトップのOSはLinuxベースになります。仮想デスクトップにアプリケーションプログラムを自由にインストールすることはできません。あらかじめ用意されたプログラムを「サービス追加」することができます。

Waffle Cellで仮想デスクトップを使うためには「ユーザー追加」に加えて「仮想デスクトップの有効化」が必要です。

○仮想デスクトップの有効化

追加された全てのWaffle Cellユーザーが仮想デスクトップを使うわけではないので、初期値は「無効」になっています。仮想デスクトップを使用するユーザーの仮想デスクトップを有効化する必要があります。

なお、仮想デスクトップを使用しないユーザー「無効」のままにしておきましょう。有効にすると無駄にリソースを使って、場合によっては速度低下を招いてしまう場合もあります。

手順

1. 管理Top画面にログイン（方法は「◎6-3:参考：管理Top画面へログイン」を参照）
2. 「仮想デスクトップ（管理）」をクリック。



3. 設定画面が表示され、登録されているユーザーの一覧が出るので、有効にしたいユーザーにチェックを入れ、「確認したら左にチェック」をチェックし、「設定する」ボタンをクリック。



有効にするユーザーをチェック

ここをチェックし

最後に設定するボタンをクリック

有効に設定すると、仮想デスクトップが起動され、3分程度経つと仮想デスクトップが使えるようになります。

○仮想デスクトップをブラウザから開く

仮想デスクトップは、ブラウザから開くことが可能です。ブラウザが動くのであれば、OSや機器（PC、スマートフォン、タブレット）を選ばずに利用する事が出来ます。ただしIE(Internet Explorer)11では正常に開けませんので、別のブラウザをご利用下さい。

手順

1. 同じLAN内にあるPCのブラウザで、
<https://l.<ホスト名>.wafflecell.com/>（例：https://l.example.wafflecell.com/）
にアクセスしWaffle Cellのアプリページを開く。
2. アプリ画面が表示されるので、仮想デスクトップをクリック。



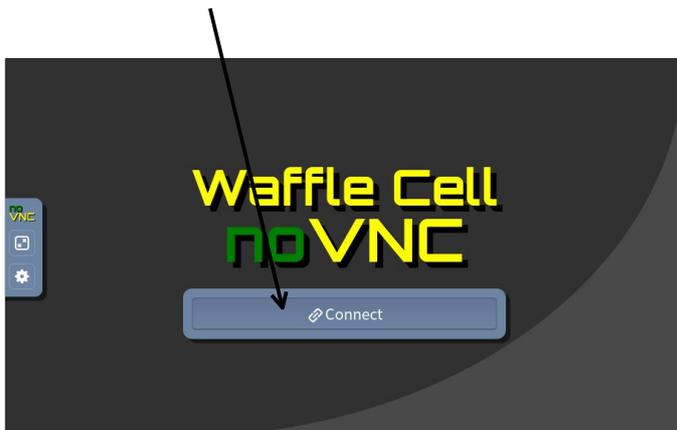
※もしもアプリ画面で仮想デスクトップが表示されない場合は同じLAN内でない（LAN外

にある) 機器からアクセスしている可能性があります。その点をご確認下さい。

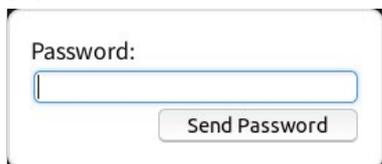
- 開きたいWaffle Cellユーザーの仮想デスクトップをクリック (図例では「tanaka仮想デスクトップへ」)



- 画面で「connect」をクリック



- パスワードの入力画面が表示されるので、Waffle Cellユーザー名に対応したパスワード(*)を入力



以上の操作で、仮想デスクトップの画面が開きます。

*仮想デスクトップへのアクセスは、VNC規格の仕様上、パスワードの先頭から8文字しか使いません。

○仮想デスクトップ画面の説明

仮想デスクトップのOSはLinuxベースであって、Windowsではありません。画面上部の「アプリ

ケーション」をクリックすると、利用可能なアプリケーションのメニューが出ます。また「場所」をクリックするとファイルやフォルダを表示します。



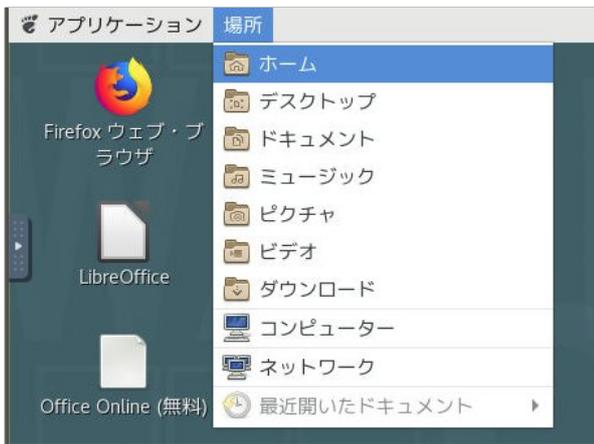
※画面はバージョン等によって若干違う場合があります。

Windowsに新しいアプリケーションを追加するように、仮想デスクトップにもアプリケーションを追加することが可能ですが、以下の制限があります。

- ・ユーザーが自由にアプリケーションを追加できるわけではない
追加は、管理Top画面にある「サービス追加削除（仮想デスクトップ）」のメニューから行います（通常はWaffle Cellの管理者が行うことになると思います）。また、追加されたアプリケーションは同じWaffle Cell内の全ての仮想デスクトップに追加されます。
- ・追加出来るアプリケーションはメニューにあるものだけ
追加できるのは、「サービス追加削除（仮想デスクトップ）」にあるものだけです。Windowsのようにアプリケーションソフトを自由に仮想デスクトップにインストールすることはできません。例えば、WordやExcelを仮想デスクトップにインストールすることはできません。

○仮想デスクトップからファイルサーバーへのアクセス

仮想デスクトップから、Waffle Cellのファイルサーバー機能へのアクセスは、そのユーザー専用のフォルダであれば、画面左上の「場所」から「ホーム」を選択する事でアクセス可能です。

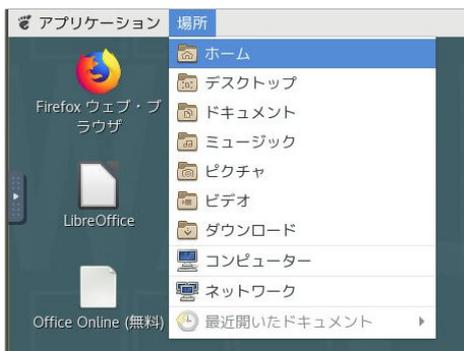


○仮想デスクトップから共有フォルダへのアクセス

複数のユーザーがアクセス可能な共有フォルダへのアクセスは、設定が必要です。

手順

1. 「場所」から「ホーム」を選択。



2. ファイラーが起動するので、「ファイル」から「サーバーに接続」を選択



3. 「サーバーに接続」の画面が表示されるので、タイプの項目をクリックして「Windows共有」を選択。

ここをクリックしてメニューを表示し、Windows共有を選択する



4. 次の画面が表示されたら各項目を入力し、「接続」をクリック。

入力項目	入力内容
サーバ	<ホスト名>.wafflecell.com 例：example.wafflecell.com
タイプ	一覧から「Windows共有」を選択。
共有する場所	Sh.<共有フォルダ名> という形で入力。（図例では Sh.minna）
フォルダ	/（初期値で / が入っている）
ドメイン名	何も入力しない(自動で入力される)
ユーザ名	Waffle Cellユーザ名を入力。（図例ではtanaka）
パスワード	Waffle Cellパスワード入力。

※もしも「ユーザ情報が正しいか確認して下さい。」と表示された場合は、念の為、ユーザ名とパスワードを入れなおして右下の「続行」ボタンをクリックして下さい。

上記手順で共有フォルダが開きません。もし「接続する」をクリックしても接続出来ない場合は、ホスト名・Waffle Cellユーザ名・Waffle Cellパスワードのタイプミス、大文字小文字を確認して、再度お試し下さい。

◎ 5-2:仮想デスクトップの終了（再起動）

Windowsであれば、スタートボタンから終了することができますが、仮想デスクトップ自体を終了することはできません。

ブラウザで仮想デスクトップを開いている場合、ブラウザのタブを閉じることにより、仮想デスクトップの画面を閉じることができますが、ブラウザを閉じても仮想デスクトップ自体は終了せず、バックグラウンドでそのまま動作しています。再度仮想デスクトップを開くと同じ状態から利用出来ます。

ただし、仮想デスクトップを個別に再起動する事は可能です。Windows PCの動作がなぜかおかしい場合、Windowsを再起動しますが、仮想デスクトップが何らかの原因により動作しないような場合、仮想デスクトップの再起動をしてみてください。（それでも駄目な場合は、Waffle Cell全体の再起動が必要になるかもしれません）

手順

1. 同じLAN内にあるPCのブラウザで、
<https://l.<ホスト名>.wafflecell.com/>（例：<https://l.example.wafflecell.com/>）
にアクセスしWaffle Cellのアプリページを開く。
2. アプリ画面が表示されるので、仮想デスクトップをクリック。



※もしもアプリ画面で仮想デスクトップが表示されない場合は同じLAN内にはない（LAN外にある）PC等からアクセスしている可能性があります。その点をご確認下さい。

3. 再起動したいWaffle Cellユーザーのパスワード（再起動用）の入力欄にそのユーザーのWaffle Cellパスワードを入力し「再起動」ボタンをクリック。

パスワードを入力し、再起動ボタンをクリック

The screenshot shows a web interface for managing Waffle Cell users. At the top, there is a header with 'アプリ' on the left and '仮想デスクトップ「ブラウザ版」' on the right. Below the header is a table with columns: 'ユーザー [?]', 'VNC/ブラウザ [?]', 'VNC番号 [?]', '再起動 [?]', and '仮想パソコン [?]'. The first row contains the user 'tanaka', status '稼働中', VNC number '5901', a password input field containing 'tanakaのパスワード', and a '再起動' button. Below the table, there is a link '仮想デスクトップへ' and a note: '↑ ユーザー名をクリックで仮想デスクトップへアクセス'. At the bottom right, there is a '最新の情報' button. A footer note states: '仮想デスクトップを使うには管理ページでユーザーごとに利用を有効化する必要があります。上記リストは有効なユーザーの一覧です。'

ユーザー [?]	VNC/ブラウザ [?]	VNC番号 [?]	再起動 [?]	仮想パソコン [?]
tanaka 仮想デスクトップへ	稼働中	5901	tanakaのパスワード 再起動	管理

これで再起動が行われます。数分待つと仮想デスクトップが利用可能になります。ブラウザの画面をリロードして「VNC/ブラウザ」の項目が稼働中になれば使用可能になります。

◎ 5-3:仮想デスクトップを専用ソフトで起動

仮想デスクトップはブラウザで開く事が可能ですが、VNC Viewer(仮想デスクトップを表示する専用ソフト)で仮想デスクトップを起動する事も可能です。日常的に利用する場合などは、VNC Viewerを使うという方法もあります。

○VNCサーバー名

多くのVNC Viewerでは、VNC Server名を入力するように求められますが、VNC Server名は、サーバー名とVNC番号（VNCポート番号と呼ばれる場合があります）を：（コロン）で繋げたものになります。

l.<ホスト名>.wafflecell.com: VNC番号
例 l.example.wafflecell.com:5901

サーバー名は

l.<ホスト名>.wafflecell.com （例 l.example.wafflecell.com）
になります。

「VNC番号」は、下記手順で確認出来ます。

VNC番号確認手順

1. 同じLAN内にあるPCのブラウザで、
https://l.<ホスト名>.wafflecell.com/ （例：https://l.example.wafflecell.com/）
にアクセスしWaffle Cellのアプリページを開く。
2. アプリ画面が表示されるので、仮想デスクトップをクリック。



※もしもアプリ画面で仮想デスクトップが表示されない場合は同じLAN内にはない（LAN外にある）機器からアクセスしている可能性があります。その点をご確認下さい。

3. 画面でVNC番号を確認する。



※VNC Viewerソフトによっては「VNC番号」ではなく、「VNCポート番号」と呼ぶ場合もありますが、基本的に両者は同じものです。

VNC Viewerから接続した方がブラウザよりも処理速度が速くなります。日常的に仮想デスクトップを使うのであれば、ブラウザよりVNC Viewerを使う方がいいでしょう。

お薦めのVNC Viewerや、簡単な使い方については

<https://ultra.wafflecell.com/manv2/?p=119#vnc>

で、該当する項目をご覧ください。

◎ 6-1:参考 : トップページが表示されない場合

Waffle Cellのトップページが表示されない場合は、以下の点を確認して下さい。

- 同じLAN内とLAN外ではトップページを見る時のURLが違います。
同じLAN内の場合は、ホスト名の前に、(エル ドット) をつけて、
`https://l.<ホスト名>.wafflecell.com/` (例 `https://l.example.wafflecell.com`)
LAN外の場合は
`https://<ホスト名>.wafflecell.com/` (例 `https://example.wafflecell.com`)
で接続を試して下さい。

- URLのスペルが正しいかチェック
ホスト名は間違っていないか、先頭 (https:) からちゃんと入れているか等
- 電源のチェック
念の為Waffle Cell機この電源が入っているかを確認します。
- LANケーブルと接続を確認
可能であれば、Waffle Cell機が接続されているルーターにPCをLANケーブルで接続してお試し下さい。
まれに線が断線している事があるので、線を変えてみる事もお勧めです。
- 強制リセット
可能であればWaffle Cell機にディスプレイとマウスを繋げて、画面を確認します。画面が出ていれば、マウスを使い画面右上の丸をクリックし、シャットダウンを選択します。繋いでも画面が出ない場合はWaffle Cell機の電源ボタンを一度押します。上手く行けばそのまま電源がオフになります。オフにならない場合は電源を長押しして電源をオフにします。その後電源をオンにしてください。

◎ 6-2:参考 : 動作チェック (LANの外側から)

LANの外側からWaffle Cellにアクセスできるかどうかを確認します。Waffle Cell機が繋がっている回線とは別の回線から(例:スマホのブラウザでモバイル回線を使ってアクセス)

https://<ホスト名>.wafflecell.com/ (例 https://example.wafflecell.com)

にアクセスしてWaffle CellのTop画面が表示されれば問題ありません。

○外部から接続した場合の画面の説明

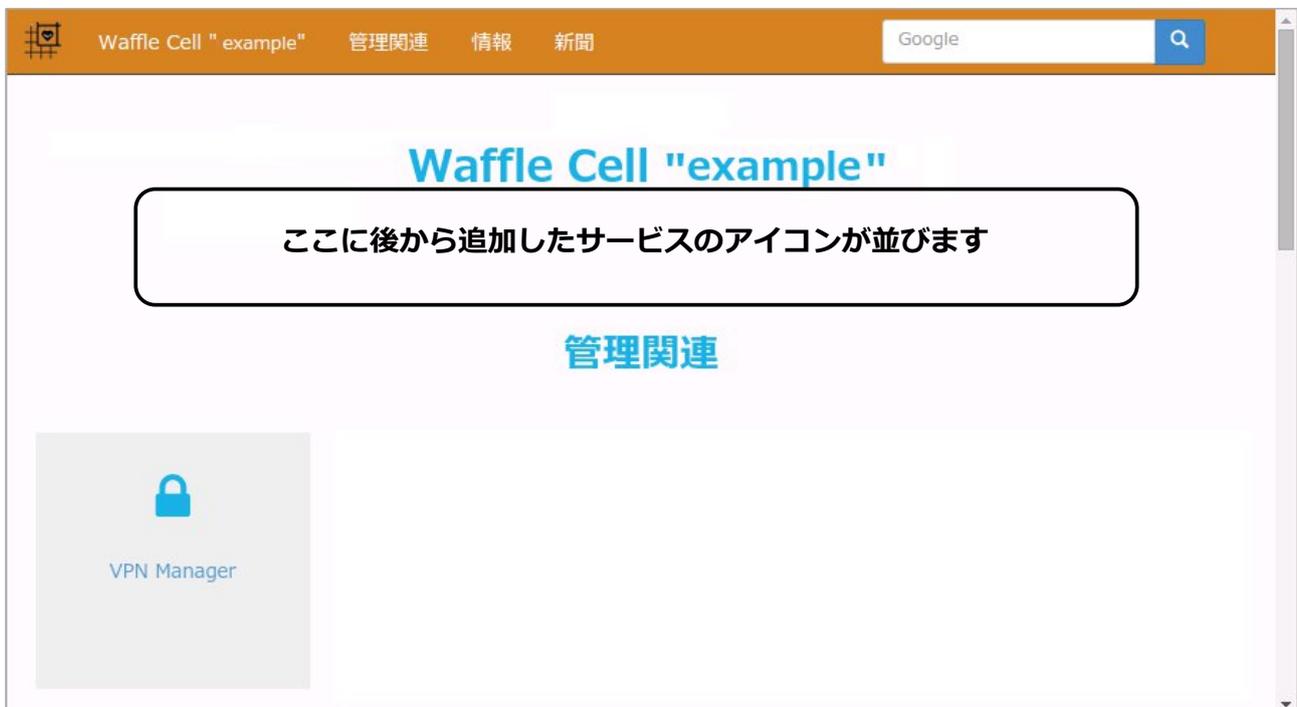
外部から接続した場合のWaffle Cellのトップページについて説明します。

同じLAN内から接続した場合のトップページに似ていますが、追加したサービスのアイコンは、LANの外側から利用できるものだけが並びます。

◆例

- 仮想デスクトップはLANの外側から利用出来ない。サービス追加されていても外側のPC等から接続した場合、Waffle Cellのトップページに仮想デスクトップは表示されない。
- NextcloudはLANの外側にあるPCからでもNextcloudユーザー名・パスワード入力でログインできるので、外側のPCから接続した場合でもアイコンが表示される。

[管理関連] もVPN Manager(Waffle CellにVPN接続するためのソフト)以外は表示されません。



◎ 6-3:参考 : 管理Top画面へログイン

応用編には、管理Top画面へログインして行う操作が多々あります。ログインの方法がわからない場合はここを参照して下さい。

1. 同じLAN内にあるPCのブラウザのアドレスバーに下記を入力
https://l.<ホスト名>.wafflecell.com/
2. アプリ画面が表示されるので、左上の「管理TOP」をクリック

アプリで「管理Topへ」をクリック



3. 管理者ログイン画面でWaffle Cell管理者名、Waffle Cell管理者パスワードを入れてLoginをクリック。

Waffle Cell管理者名は adminw

Waffle Cell管理者パスワードは adminpass となります。



これで、管理Top画面にログイン出来ます。

管理Top画面の上部には、「アプリへ」というリンクがあり、これはアプリ画面（管理Topにログインする前の画面）へのリンクになります。

右の方の「Waffle Cellユーザー設定」～「最新情報」はこのページ内へのリンクです。試しに押してみてください。動作が理解できると思います。

Waffle Cell ユーザー設定

NAS,仮想デスクトップ,VPN用 ログアウト



ユーザー追加



ユーザー削除



ユーザーパスワード



共有フォルダ

※本説明書に記載されている会社名、商品、サービス名は各社の商標または登録商標です。